

【目指す学校像】みんなで どんなときも りかいしあえる学校

【目指す児童像】かしこい子 やさしい子 たくましい子

みどりが丘小だよ

令和4年5月16日発行
鹿沼市立みどりが丘小学校



学校
ホームページ



コロナ禍の中の大型連休は。。。

まん延防止等重点措置が解除となり、世の中はすっかり旅行ムード。しかし、感染状況は収束しているのかと思いきや、栃木県の感染状況は高止まりが続いております。本校では現在でも全校児童427名全員が体育館に入る学校行事等を実施しておらず、引き続きリモートによる実施や校庭での実施が行われている現状です。様々な我慢を強いられている子供たちが、この連休に家族と過ごすことでストレスを発散し、元気に登校してくれることを願うばかりです。大人は「自己責任」のもと、それぞれの方法でストレスを解消することは可能ですが、子供はそうはいきません。こんなときこそ、家族で余暇を楽しむことが必要ではないでしょうか。

学校は、これまで通り手洗い・消毒・換気をこまめに行い、マスクを着用して可能な限りの教育活動を展開していきますので、ご協力をよろしくお願いします。

創立30周年記念

学校運営協議会設立記念

※ このたび、みどりが丘小学校が創立30周年を迎えることになりました。また、今年度、みどりが丘小学校運営協議会を設立することになり、元宇都宮大学教授の廣瀬隆人先生をお迎えして記念講演が行われました。



【生き生き教育活動】

＜町たんけん～2年～＞



2年生は生活科の学習で、たんぼぼ公園まで校外学習を行いました。ちょっと天気が心配だったので、早めに切り上げましたが、子供たちは楽しそうに探検していました。

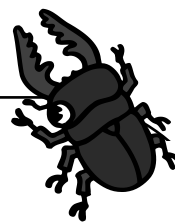
＜授業参観・学級懇談＞



昨年度の2学期以降、中止となっていた授業参観を、今年度は実施しました。本校は教室の廊下側の壁が可動式であるため、解放して密集しないように参観できるのも大きな特徴です。

＜校長のつぶやき＞

～生き物が活動する季節～



温かくなり、校長室前の庭園には連日低学年の児童が虫探しに夢中です。朝、西門に立ち、子供たちを迎えようと待っていると、ツバメが飛び回っており、もうそんな季節になったかと思う今日この頃・・・。20年ほど前の我が家の光景が頭に浮かびました。

あるとき、我が家にちょっとした家族が増えました。小学生だった娘が以前から「金魚が飼いたい」と騒いでいたので、『自分で世話をする』という条件で飼うことにしました。コメットという種類の金魚を3匹ほど飼いました。私は水槽の手入れなど、どうせ自分がやることになるだろうと思い、あまり乗り気ではなかったのですが、上の兄も妻も大喜びで、誰がえさをあげるかでケンカとなることもしばしば。

ところが1週間ほど前、妻が「あれっ。ちょっと様子がおかしい。」の一言から大騒ぎになりました。ヒシのあたりに小さな粒状の点々ができているようです。「病気になっちゃった。」と娘は泣き出し、兄はインターネットで金魚の病気について調べ出したり、その後店に行き、薬を買ってきて水を取り換えたりと、せっかくの休日も金魚のことで1日が終わってしまいました。3人でそれぞれに名前をつけ、かわいがっていた金魚なので、しばらくは大騒ぎ。看病の甲斐あって、金魚の病気も治り、それから毎日金魚が主役の生活になりました。

どんな道徳の授業よりも「生命尊重」ということについて考えることができた貴重な体験だったと思います。仮に金魚が死んでしまったとしたら、それはそれで命の尊さを考えたことでしょう。自分たちが子どものころ、カエルやクワガタなど、たくさんの生き物を捕まえてきては死なせてしまったことがよくありました。でも、そういう体験を通して命の尊さを学んだような気がします。我が家の金魚はおかげさまで発見が早かったせいか、その後無事に元気を取り戻すことができました。

今、私は三叉神経痛に悩まされています。食事をするにも口を動かすたびに激痛が走り、おかげで5kg減量できました。あのときの金魚のように家族に心配されながら・・・幸せ者です。

